

平成28年度第6回甲賀市地域福祉計画審議会【会議結果】

1. 日 時 平成29年2月24日（金） 午後2時～午後3時30分

2. 場 所 水口社会福祉センター 2階 中会議室

3. 出席者

(1) 委員 森田千歳委員、橋本恵順委員、西村敦子委員、栗田修司委員、富岡正義委員、藤本俊治委員、辻淳子委員、上山清美委員、辻金雄委員、大西安雄委員、金子秀明委員、岡田重美委員、（以上、12人）

【欠席委員】 安達みのり委員、西村與利子委員、打田絹子委員

(2) 事務局 伊藤勲健康福祉部次長

【健康福祉部社会福祉課】

幡野啓二課長、椎野康浩福祉政策係長、吉川邦彦主査

4. 傍聴者 なし

5. 会議結果

(1) 意見聴取事項

第2次甲賀市地域福祉計画の策定に係る答申（案）について

【主な意見等】

ア. 前回（第5回）審議会での意見を踏まえての変更点について

- 22ページの③地区別主任児童委員数の推移であるが、主任児童委員は児童委員の中から指名される。このように表記（データ）を分けると別の委員と思われるのではないか。
- 市内にいるひきこもりへの支援について、関係機関、行政等が連携し、取組を進めようとしていることからそのことについて表記すべき。
- 先日の大雪の際、ボランティアの活動が大きかったことから、災害ボランティアについて表記すべき。
- ボランティア等について、活動をするにあたりどこに連絡すればよいか、分かるよう連絡先の一覧を掲載してはどうか。

⇒ 66, 67ページにボランティア関係の連絡先をはじめ、第2章における相談窓口となる関係機関、団体を一覧にして表記する。

イ. 人口フレームの取扱について

- 人口フレームを目標設定として考えればよいのではないか。
- 人口フレームを考えるうえで、将来甲賀市の子どもが地域で生活できる基盤の整備等が必要である。

- 本計画の策定根拠として、人口フレームを基に議論しているわけではないが、巻末に資料として掲載してはどうか。
- 本計画は、将来の人口推移を考えるものではなく、「つながり」を大事にすることとしている。数字が上がろうが、下がろうが「つながり」が大事であるという考え。ただし、推移を無視しているわけではない。
- パブリック・コメントでの意見を待ち、必要であれば参考資料とするとよいのではないか。

ウ. 答申文書について

- 県地域福祉支援計画との整合はどうか。

(事務局より)

- 上記意見の修正内容については、会長、副会長に一任することでよいか。
- 平成29年度より組織改編があることから、組織の名称については、事務局において変更する。

(2) その他

今後のスケジュールおよび次回審議会の開催時期について

[今後のスケジュール]

平成29年3月7日(火) 11:00より栗田会長、辻副会長より市長へ答申いただく。

[次回審議会の開催時期]

パブリック・コメント終了後、5月中に開催する予定。

6. 会議録 別添のとおり

7. 会議資料 別添のとおり